



Member

Piccolo

Sato Yukari : 佐藤由加里

Flute

Sato Tsukasa : 佐藤 司

Uotani Yoko : 魚谷 陽子

Nobesawa Yoko : 延澤 優子

Oboe

Sakamoto Makiko : 坂本真貴子

Clarinet

Hatazawa Atsuko : 畑澤 淳子

Onishi Harumi : 大西 晴己

Matsumoto Yuki : 松本 ゆき

Nagao Kyoko : 長尾 恭子

Ishida Keiko : 石田 契子

Iida Yoko : 飯田 祐子

Bass Clarinet

Sato Hiroshi : 佐藤 浩史

Bassoon

Takahashi Shiho : 高橋 志穂

Alto Saxophone

Ogawa Yoko : 小川 陽子

Okada Mayumi : 岡田真由美

Tenor Saxophone

Hatsuoka Kazuki : 初岡 和樹

Baritone Saxophone

Okuda Hiromi : 奥田ひろみ

Horn

佐々木まゆ : Sasaki Mayo

小川 貴子 : Ogawa Takako

日置 澄人 : Hioki Sumihito

佐伯 直人 : Saeki Naoto

Trumpet

魚谷 昌克 : Uotani Masakatsu

大西 伸幸 : Onishi Nobuyuki

国元 昌広 : Kunimoto Masahiro

表 恭子 : Omote Kyoko

吉川 茂宏 : Yoshikawa Shigehiro

Trombone

田中 真二 : Tanaka Shinji

田口 秀雄 : Taguchi Hideo

田中 良美 : Tanaka Yoshimi

Euphonium

大西 善郎 : Onishi Yosio

中村 雅美 : Nakamura Masami

Tuba

吉村 大介 : Yoshimura Daisuke

橋本 一夫 : Hashimoto Kazuo

Percussion

河津 雅之 : Kawatsu Masayuki

平井 晶 : Hirai Aki

下村 智子 : Shimomura Tomoko

前河内芳昭 : Maekawauchi Yoshiaki

久保 寛美 : Kubo Hiromi

Piano

松本 清香 : Matsumoto Kiyoka



Member



<http://www.interq.or.jp/classic/a-winds/home.htm>

2000.3.26 SUN. OPEN14:00 START14:30
いかるがホール大ホール



ヴァーツラフ・ネリベル
トリティコ
 1) アレグロ・マエストーソ
 2) アダージョ
 3) アレグロ・マルカート
 指揮: 魚谷昌克

柏崎真一
をどり唄

フィリップ・スパーク
祝典のための音楽
 指揮: 佐藤 司

<休憩>

酒井 格
大仏と鹿

ロナルド・ロ・プレスティ
あるアメリカ青年へのエレジー

ロバート・ジェイガー
ダイヤモンド・ヴァリエーションズ
 客演指揮: 中西 勲

Vaclav Nelhybel
TRITTICO
 1) Allegro maestoso
 2) Adagio
 3) Allegro marcato
 Conductor: Uotani Masakatsu

Shin'ichi Kashiwazaki
"Tekomai" Songs

Philip Sparke
Music for a Festival
 Conductor: Sato Tsukasa

<intermission>

Itaru Sakai
Great Buddha and Deer

Ronald Lo Presti
Elegy for a Young American

Robert Jager
Diamond Variations
 Guest Conductor: Nakanishi Isao



ご挨拶

実行委員長 佐藤 浩史

本日はお忙しい中、*A-winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ2000年春の演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

一口に「吹奏楽」と言ってもさまざまな形態があります。数人での室内乐的な小編成のものから、80人以上にもなるシンフォニックバンドまで、実に多様です。そんな中、私たち*A-winds*は、個々のプレイヤーの音楽性を最大限発揮でき、かつ演奏する喜びを感じる事の出来る「ウインド・アンサンブル」を選び、昨年12月にデビュー演奏会を果たしたばかりの若い吹奏楽団です。幸運にも私たちのこのスタンスは好意的に受け入れられ、今回、第2回目の演奏会を開催する運びとなりました。

この春の演奏会でメインに取り上げますのは、R.Jagerのダイヤモンド・ヴァリエーションズです。個人的な話で恐縮ですが、この曲は私が吹奏楽の世界に入って最初に演奏した曲でもあります。まさに変奏曲の名の示す通り、合奏する度にさまざまな形で想い出を蘇らせてくれました。

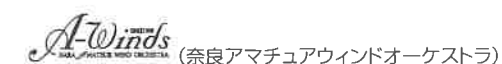
そして今回*A-winds*の名の下にまた新たな想い出が刻まれることでしょうか。果たして私たちの演奏は皆さまの心に残るものとなるでしょうか。メンバー一同そうなることを願い、精一杯演奏いたします。

それではごゆっくりお楽しみ下さい。

プロフィール

客演指揮者: 中西 勲

大阪音楽大学卒業。ユーフォニアムを吉岡康博、末吉秀夫、三浦徹、石崎一夫各氏に師事。大阪音楽大学吹奏楽団、吹田吹奏楽団、三田市吹奏楽団等と共演。現在、大阪音楽大学非常勤講師。大阪小バス倶楽部、ジャパン・プラスコレクションメンバー。神戸大学吹奏楽部バンドトレーナー、加茂ウインドオーケストラ音楽監督、邦楽集団「個々の会」常任指揮者。



1999年10月、古都奈良に新しいアマチュア吹奏楽団が誕生。その名も「*A-winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ」。「*A-winds* (エー・ウィンズ)」の“A”は「アマチュア(amateur)」の“a”であり、アマチュアならではの音楽づくりを追求することを標榜しています。演奏形態としては、演奏者一人一人の音楽づくりを合奏に反映できるよう、管打楽器アンサンブルの延長上としての最小人数の吹奏楽=ウインドアンサンブルを指向し、また、レパートリーとしては、吹奏楽の特性を最大限に発揮できる吹奏楽オリジナル曲を中心に取り上げていきます。



トリティコ/ヴァーツラフ・ネリベル

この曲はミシガン大学のシンフォニック・バンドの委嘱により、1964年に作曲されました。ネリベルの作品の中では珍しく3楽章構成の曲です。第1・3楽章は鮮やかでエネルギッシュな音楽ですが、対照的に第2楽章は劇的な音楽で、打楽器群やピアノ、チェレスタが効果的に使用されています。

をどり唄/柏崎真一

千葉県佐原市の伝統的な祭り「佐原の大祭」には「佐原囃子」というお囃子があり、その中には踊りの伴奏として使用される曲がいくつかあります。この曲は、その中でも代表的な『あんば』『吉野』『大杉あんば』の3曲の旋律をもとにしています。

祝典のための音楽/フィリップ・スパーク

この曲のオリジナルは、1985年にロンドンで催された“全英プラスバンド選手権”のユース部門決勝の課題曲として作曲された、プラスバンドのための作品です。本日も聴きいただきますウインドバンド版は、ロンドンのハウンスロー・ユース・ウインド・オーケストラの指揮者クリス・フッカーの委嘱により、1987年に書かれました。曲は、スピード感溢れる第1楽章、美しくかつ雄大な第2楽章、リズムカルな第3楽章という、休みなく演奏される3つの楽章で構成されています。

大仏と鹿/酒井 格

この曲は、奈良県吹奏楽連盟の創立40周年記念委嘱作品として1998年に

作曲されました。1300年もの長い歴史を持つ古都奈良には、貴重な文化財や風景が数多くありますが、中でも東大寺の大仏と奈良公園の鹿たちは、この街の象徴といえるでしょう。

あるアメリカ青年へのエレジー/ロナルド・ロ・プレスティ

1963年11月22日、テキサス州ダラスにおいて1人の青年が銃弾に倒れました。彼の名をジョン・フィッツジェラルド・ケネディといい、時のアメリカ大統領でした。

この曲は彼の死を悼んで作曲されたもので、タイトルの“あるアメリカ青年”とは彼のことを指します。彼への追悼曲は多くの作曲家によって書かれています。吹奏楽曲ではこの曲が最もよく知られている作品といえます。

ダイヤモンド・ヴァリエーションズ/ロバート・ジェイガー

この曲は1968年にイリノイ大学バンドの創立75周年記念委嘱作品として作曲され、オストワルド作曲賞(アメリカン・バンドマスターズ・アソシエーションから、優れたバンド作品に授与される賞)を受賞した、ジェイガーの代表的作品の一つともいえます。

この曲の主題は同大学のフットボールの応援歌から取られていて、その主題をもとに5つの変奏曲が構成されています。それぞれの変奏曲からは、ユーモラス(第1変奏)、ドラマティック(第2変奏)、スリリング(第3変奏)、ロマンティック(第4変奏)、圧倒的な壮麗さ(第5変奏)といった彼独特の幅広い音楽的センスを一気に聴くことができます。

